

◆ 記念祝賀会 (柏崎市産業文化会館)

産業文化会館に会場を移して、午後一時から三階の大ホールに二百五十人の参加のもと、盛大に記念祝賀会が開かれました。祝賀会担当の青木健副実行委員長 (PTA会長) が爽やかに祝宴の会進行しました。土田実行委員長の挨拶に続いて同窓会東京支部の近藤健彦支部長 (高12) が、怒涛の二十世紀を乗り越えた母校の更なる発展を、お祝いの言葉をいただきました。勝海昭前同窓会長 (高8) が、百周年から十年、二度の地震にもめげず復興を遂げた母校へのエールを込めて全員元氣よく乾杯しました。懇親会では、講師の宮脇昭先生を始め大勢の来賓の方々や新旧教職員、同窓会の先輩・後輩・保護者の方々等あちらこちらで百周年を祝う賑やかな話題に花が咲きました。

最後は高十五回から十八回の若手(?)の年次大会がステージに上り、音頭をとり、「米峰突兀雲を貫きみ空に亘がく玉芙蓉」と意気軒昂に校歌を大合唱しました。



乾杯発声勝海昭前会長



祝辞近藤健彦東京支部長



来賓の方々



祝賀会会場



15〜18回生 校歌斉唱

平成22年度総会の報告

蓮池薫氏 (高28回) の講演会 盛況

平成二十二年度の柏中・柏高同窓会総会が、例年八月の第一土曜日となっていました。事務局の不出席で、七月三十一日(土)柏崎市産業文化会館で開催されました。今年度は記念文化講演会と名称を変えて、多くの市民の方に聞いていただきたいという思いで実施しました。

平成二十二年度の柏中・柏高同窓会総会が、例年八月の第一土曜日となっていました。事務局の不出席で、七月三十一日(土)柏崎市産業文化会館で開催されました。今年度は記念文化講演会と名称を変えて、多くの市民の方に聞いていただきたいという思いで実施しました。

施されました。講師には、新潟産業大学専任講師の蓮池薫氏 (高28) にお願いをしました。帰国した拉致被害者の一人として、「ふるさと柏崎に想うこと」と題して、二十四年間の拉致生活の様子や思いを実に生々しく語って下さり、約二百五十人の聴衆が熱心に聞き入りました。

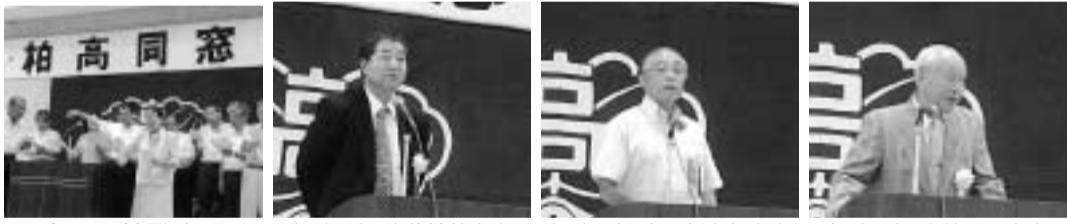
総会では土田新吾会長 (高16) が、十一月六日に行われる柏崎高校創立百周年の記念事業の成功に向けて、同窓会の総力を挙げて取り組もうと呼びかけました。総会後の懇親会では、講師の蓮池さんを始め各支部役員、招待恩師の小林洋一 (中45) 先生・宮田新太郎先生・後藤敏数先生をお招きし、二百三十余人出席の大盛況の懇親会となりました。



広川俊男氏

蓮池薫氏

懇親会会場



高17回校歌斉唱

招待恩師 後藤敏数先生

招待恩師 宮田新太郎先生

招待恩師 小林洋一先生

創立百十周年記念講演要旨

今なぜ木を植えないければならないか。私たちは現在の自分の存在や生活を当たり前のことと思っている。実は、四十億年前に偶然奇跡的な確率で生まれた原始の生命が、途切れることなく現在の諸君につながっている。日本では、毎年三万人以上が自殺しているが、今生きていくことが幸福であり、生命の尊さをいかに実感するかが大切である。木を植えることは明日を植えることであり、心に木を植えることで生

「明日のために、生物社会の掟にそって」

柏崎高校から世界へ

横浜国立大学名誉教授(博士) 宮脇昭氏

命のすばらしさを知るのである。最も大切なものはあなたの命なのです。ドイツに招かれて二年半研究所に滞在したとき、「本」を読み、現場で、実際に手で触って、なまの命のすばらしさを知る「こと」が大切であることを学んだ。人間はすべてを植物に依存している。酸素も、水素も、衣服も、炭酸ガスも、いわば、植物の寄生者である。それを自覚する必要がある。そして、生きていくという幸福に基づいてすべての活動をしているのである。掟に沿って植えるのは勿

論である。ドイツ語に「森の下にもう一つ森がある」という言葉がある。下の森が上の森を支えているのである。本物の森は台風などで破壊されてくずれ、切つたらたたりがある」といわれた。年守られてきたのである。あの酒田大火でもわずかに二本のタブの木が火を食いつぶしたときに都市も滅びていった。メソポタミア、ギリシャ、そしてローマも、常緑樹林帯によって人間は生きていくことができる。エコロジカルな目を持ち本物と偽者を見分ける力をつけていく必要がある。植えた木が都市を守る。成長した大きな木を植える必要はない。

必ず苗から植え、自然の掟に従って混植・密植すること。九年で立派な森になる。今問題になっている「いじめ」には必ず予兆がある。現場に立って観察すればその予兆を見抜くことができる。自然の予兆も現場に立って見抜くことができる。現場、現場、現場、とにかく現場に立つことが大切なのである。里山の雑木林は誰が下草を刈るのか。自分で作業することである。そして、偽者でなく本物を植えること。本物を植えれば管理は必要ない。自然の管理に任せればよいのである。

<p>高桑内科医院 高桑正道 (高18) 柏崎市比角一丁目二丁目三 TEL (21) 二五五五</p>	<p>会田内科医院 会田 恵 (中41) 東本町2 (旧保健所前)</p>	<p>高島内科胃腸科 理事長 高島憲一郎 (高13) 柏崎市扇町二丁目十三 電話 (二四) 〇〇一一</p>	<p>馬場会計事務所 税理士 馬場 正人 (高19) 〒945-0046 柏崎市四谷二丁目三十一 TEL 二二一六一七一</p>	<p>矯正歯科・歯科・小児歯科 きたざわ 歯科 かみあわせ研究所 北澤 智昭 (高23) 柏崎市幸町一丁目七 TEL (22) 六二二二</p>	<p>新潟医・歯学同窓会 会長 阿部春樹 (高17) 幹事 植木智志 (高45)</p>	<p>うまいものダイニング 大志麻 柏崎市日吉町三二二七 代表取締役 大島 崇 (高23) 柏崎市岩上九一七</p>	<p>株会 田写真館 スタッフ一同 柏崎市扇町一丁目一八 TEL 二二二二二二</p>	<p>株式会社 植木組 取締役会長 植木康之 (高15) 取締役社長 植木義明 (高23) 新潟県柏崎市新橋二番八号</p>	<p>割烹 みずち 学 (高41) 水地 柏崎市柳橋町二丁目一四 TEL (〇二五七) 二二四四五 FAX (〇二五七) 二二一九二二</p>
--	--	---	---	--	---	---	--	---	--